



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

ロータリー家族月間

家族の絆を考える

社会奉仕委員長 中島 喜代一（京都南RC）

私は満州で幼児期を過ごした。終戦の数ヶ月前、父が現地召集で戦場に行った。父の出征は母の胸に抱かれて見送った。片手に一升瓶、もう片手には家の最大の働き手の馬二頭の手綱が握られていた。雑踏のなかの其の風景は今も鮮明である。

終戦を迎えて、足手まといにしかない私と、三歳下の弟を連れて「大地の子」さながらの逃避行の末、命がらがら能登半島の実家にたどり着いた。母の実家と、本家との間を2日ごとに行き来した。両方とも10人を越える大家族であった。多くのいとこたちとけんかをしたり、悪さをしたりして過ごした。

小学生になったころ父がシベリアから引き上げてきて、私たちは家族だけで過ごすことができるようになった。

渡満の直前、父はほとんどすべての持っていたお金を実家に渡しており、家を建てるはずだった土地も畑も、すべては他人のものになっていた。そんなわけで私たちは貧しく、小学生といっても貴重な労働力であり、放課後の遊べる時間はすくなかった。もっとも、そんな家はわれわれだけではなかった。私はよく母に逆らい、父に反発した。

しかし、こうした時期を過ごしながら、私たちは両親の愛情に疑念を持ったことは一度もなかった。私たちという意味は、他の

家の子どもたちもという意味である。親が子どもたちに危害を加えるなど考えられもせず、子どもたちもまた両親の苦難を見て捨て置くことはできなかった。おそらくそれは日本人全体の……渡辺京二の「逝きし世の面影」に描かれるような……一つの文明の断片とも言うべきものだったのかもしれない。

今、朝に親殺し、夕に子殺しの、これでもかこれでもかという殺伐たるニュースを聞くとき、あの子をいつくしみ親を敬う、貧しくても心豊かな民族はどこに消えたのかと思ってしまう。おそらく、あまりにも人の権利や自由、個人の感情を尊重する風潮や教育がそうした新しい人種を作り上げたに違いない。

現代の人々にとっては、引きこもることも、自分の感情で他と交わらないことも、近隣や町のことよりも、また国の利益よりも自分の心、自分の気分のほうがかかるに大切なのである。しかし果たしてそれでよいのか。自分の感情や、権利を超えたもっとも大切なものが存在することを知るべきではないか。

家族間の絆と、愛国心は本質的には同じものである。兄弟は他人の始まりといわれるが、兄弟のためには自分を抑えることも必要だった。私たちは自分の都合、自分の感情優先では、自分自身が生きられないことを知らなければならない。家族や友人や国を

大切に思う心はとりもなおさず自分を大切にすることにつながっている。

かつては兵役と言う制度がそれを教えた。自分以外のものを大切に、日本人の共通の目標を教育する場として機能した。徴兵と言う制度は、その意味では一人の人間が一人前になるための通過儀礼としても、人間教育の場としても効果的に働いたのである。

同胞愛、愛国心を言葉にするとすぐに右翼であり、好戦的といわれる。しかし、そのように言う人の大多数は戦争を知らないひとたちである。戦争の悲惨さを体験し、戦争などは二度とあってはならないと思う者にこそいえる言葉もある。

女が男の顔色を見るために、わが子を虐待して殺すなどは、法律以前に人間としてあってはならぬことである。役所や学校が怠慢だったと言うことを聞くたびに、私には違和感が募る。子どもたちへの愛情や健康や生命は、福祉事務所や児童相談所に頼らなければ守れないものなのか。失われた家族の絆、失われた同胞愛を取り戻す方法は役所には存在しない。まだ間に合うであろうこのときにこそ、知恵をしぼり工夫をこらすときである。

ロータリー活動に家族の力を！

世界社会奉仕委員長 園田 英次（湖南RC）

私は1988年に、水口RCに入会させて頂き、翌年新クラブ設立と同時に湖南RCに移籍し早や18年の歳月が経ちました。

その間、地区での主要な活動は世界社会奉仕、Polio根絶募金活動を11年間務めさせて頂いております。

「今」ふっと、振り返って見ますとロータリーで多くの皆様方にご教示、ご指導を受けロータリー活動を続けてきました。改めて感謝しているしだいです。

さて、「ロータリー活動と家族」を考えるテーマですが、家族の理解があつてこそロータリー活動が続けられると、一般的にはこの様に言われていますが皆さんはどうお考えでしょうか……「うわべ綺麗ごと」だけで行動が伴わなければ家族は認めてくれません。

私は、家族と共にロータリー活動事業に参加して何かの共通点を見出し、家族の会話を通じて理解を得ることが大切ではなからうかと思っています。

チョット偉そうなことを申し上げましたがこんな私でも最近、少し解ってきたような気がしております。

その事に気付くまで、家族と参加した事業と言えば家族例会、記念式典などの諸事業の同伴出席でありました。また時々、海外姉妹クラブの提携事業に参加した程度の記憶しか残っておりません。その時は「だんな様のお供」で中身は理解されないまま、事業等の役割に従って付いて来てもらったと言う事であったかと思えます。

家族が進んで諸事業に「参加したい・行きたい」と思い率先して参加してくれたのか、考えますとチョット自信が薄れるのです。

近年のロータリー活動は家族の協力を必要とする地域社会貢献事業に方針が変わり、家族の役割分担も明確になり「責任のある役割」をお願いして、協力を願った事業が策定されております。

そうならば自然と責任感をもって参加していただくことが出来、事業の意義が理解され家族の見方も少しずつ変化し「今年の

事業は何をされるの」と聞く耳を持ってロータリーの会話に入っていた様になると思います。

そのきっかけと言いますが、何とも言えないのですが、ほんの一例ですが紹介します。息子が海外留学から帰国して間もなく「先進国も勉強になったと思うが、途上国も少し見てみるか」と誘い出したのが、京都南RC・50周年記念事業のPolio根絶活動で策定されたミャンマーMissionでした。この時、屋上で売っている「饅頭」を食し食あたりで高熱・嘔吐、下痢症状でもがき苦しんでいた息子のケアが、大人になって親子の繋がりを一層、深められた事件でした。

その後、私から海外支援の話が出ますとあの苦い経験は体験として受止め、息子からよく出てくる話はロータリーの国際、医療・教育援助、Polio根絶への援助の重要性を実体験から学び、世界社会奉仕事業の意義を理解し目を向けてくれた事です。

また、家内はMissionに誘っても途上国での活動は「体力に自信が持てない」と頑なに聞く耳も持たずに拒否しながら「あんたばかり海外旅行いいですね！」と嫌味を言っていたが、途上国の現状を息子から聞かされ、今年は「何処の国への支援を計画しているの」と聞くようになり支援内容まで興味を持つまでになりました。

参加意識があつても決断が出来ないままやり過ごしていた時「一度行ったら」と息子から勧められ、その気になったものの「虫は多いの？・食べ物？」と様々な質問を繰り返す不安の中で、初めて参加したのがパプアニューギニア・ラバウルMissionでした。

その後、度々でかける旅行先に途上国が含まれても積極的になり、Missionの時と比較しながら「チョット、警戒をしているね！」といった言葉になり意識の変化が表れました。

また、昨年に策定された「身体障害者に正しい知識をもって社会に共生しよう！」と台湾姉妹クラブと共同事業の「ふれあい大

運動」は、両国の会員クラブ夫人と共に通じない言葉を掛け合いながら、ハンディを背負った子供たちと一緒に一生懸命競技していた姿は、会員家族の協力によって成功した地域ボランティア事業でした。

また、イベントとして企画された「餅つき大会」では、子供たちに「美味しい餅を食べさせてあげたい！」と優しい心遣いの会員家族、地域ボランティアの職業奉仕が発揮された事業でした。ロータリーと家族、難しいことを考えられない私ですので、私事の1例を紹介させて頂きました。

ロータリー活動に家族が「進んで参加したい」事業は、家族の意見も反映された策定も考える必要があると思います。

ロータリー家族同士が協力し「ふれあいと助け合い」の中で、「笑いがある」和やかな雰囲気策定されたクラブ事業は、何時までも語り継がれ思い出になることでしょう。

以上、思いのまま筆を走らせ、駄文投稿になりましたこと深くお詫び申し上げます。各クラブのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



ラバウル・Polioワクチン投与 2005.01



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

G.S.E. 委員会からのお願い

G.S.E. 委員長 山本 和秀 (京都山城RC)

GSEの目的はロータリアンでない事業及び専門職務に携わる人たちのチームにロータリークラブが補助金を出すプログラムで、異なった国・地区がお互いにチームを交換します。チームは4～6週間海外に滞在し、ホスト国の各種施設、経済及び生活様式について学び、その国における自身の専門職業を視察し、友情を深め、地域社会の指導者とアイデアを交換することができることにあります。加えて、ホストクラブがGSEチームを受け入れることにより教育的体験を分かち合え、ロータリーの世界的使命を高める機会を得られます。

今年度の相手地区はイギリスの中南部にありますRI.第1200地区です。

派遣は2006年9月19日から10月19日

受入は2007年3月25日から4月25日の予定です。

派遣についてですが、派遣団員のクラブからの御推薦は3人でした。内訳は福井北RCから1人、湖南RCから2人の併せて3人です。

派遣団員選考試験を5月28日にし、引き続き結団式を行いました。その後、出発までRIのルールにそった研修を数回行いました。

次に、「受入」についてですが、ホストクラブは王寺RC、京都モーニングRC、舞鶴東RC、八日市南RC、福井あじさいRCの5クラブをお願いすることになっております。5クラブの皆様には

大変お世話になりますがどうぞよろしく願いいたします。

ところで、GSEプログラムは派遣団員に海外で職業上の勉強、友情交換、また、海外での見聞を広げるだけが目的ではありません。派遣団員がロータリーを理解しロータリーの理念を伝道・実践して頂く事も大きな目的です。

そこで、皆様をお願いがあります。と、申しますのは当地区からGSEの派遣団員として参加された方に少なくとも財団学友として活動してもらいたいのですが、彼らに連絡を取るための資料がありません。ですから、皆様からの情報だけが頼りになるのです。

たとえば、(1)かつてGSE派遣団員を出された経験があるクラブ様。(2)かつてGSEチームリーダーとなられた方でそのときの団員への連絡方法を御存知の方。(3)貴会社・貴医院など皆様の事業所に所属されておられた方をGSE派遣団員として参加させていただいた方。このような方は「バストGSE派遣団員」の連絡方法を御連絡くださいますようお願いいたします。

連絡先はガバナー事務所

電話：075 - 229 - 2650

Fax：075 - 229 - 2651

なお、過去のGSE派遣団員のリストを表にして掲載いたします。

西 暦	ガバナー	G.S.E委員長	相手地区	団 長	団 員
73～73	田中 豊	竹上 藤一郎	D.640 デトロイト	三浦 総一郎	佐々木 紘之、清水 寿一、今阪 尚、藤原 郁三、覚前 行成
75～76	千 玄室	三浦 総一郎	D.676 テネシー	酒井 哲	大江 法城、木谷 克宏、滝山 敏郎、岩井 正臣、惣宇利紀男
77～78	山口 善造	山口 藤兵衛	D.563 ネブラスカ	小野 修	新道 弘之、松尾 秀行、兼定 和寛、植田 純一、空閑 信勝
82～83	堀場 雅夫	牧 直次	D.596 ミネソタ	成田 龍雄	堀田 良里、小椋、正木 清、宮田 実、小幡 義次、原川 満
85～86	増田 房二	牧 直次	D.596 サンフランシスコ	前島 健治	那須田 文与、飯沼 武彦、新延 清、寺井 誠一、村田 三千夫
87～88	小谷 隆一	牧 直次	D.596 アラスカ	前島 健治	上野 吉弘、伊達 朗、二宮 彰、須山 敏行、伊藤 博
89～90	津田 佐兵衛	前島 健治	D.528 ロサンゼルス	安川 昱	荒川 史郎、熊谷 浩一、松浦 正義、苗村 淑子、吉田 祐子
90～91	中野 重宏	前島 健治	D.144 デンマーク	牧 直次	吉村 瞬潤、則房 恵子、布施 壮一、山本 健雄、今井 祐次
91～92	西村 大治郎	前島 健治	D.9500 オーストラリア アデレード	奥本 裕昭	松田 光夫、竹内 一志、吉川 幸子、長谷川 ゆか、古尾 国弘
92～93	林 一彦	前島 健司	D.1860 ドイツ ハイデルベルグ	徳田 定弘	伊藤 辰司、池田 律子、高橋 英子、松本かつら、隅田 憲孝
93～94	本田 茂	徳田 定弘	D.3460 台湾 台中	黄 書璋	芦谷 美奈子、因幡 真佐巳、飯田 智子、酒井 克子
94～95	二橋 貞雄	徳田 定弘	D.1670 フランス リール	エワト・ダニエル・ミン	堀井 正光、佐々木 美由紀、増田 尚男、藪内 美加
95～96	坂部 慶夫	淡島 洋	D.4570 ブラジル ブラジリア	森 努	和田 欣也、竹原 知子、木本 実、沖田 伸江
96～97	(足高 晋) 中野 重宏	淡島 洋	D.9710 オーストラリア キャンベラ	八木 春樹	松村 啓之、長坂 浩史、吉村 仁志、富永 純代
97～98	山田 三郎	松本 昇	D.1390 フィンランド ヘルシンキ	淡島 洋	鈴木 忠司、常田 信一、出口 草子、横村 久子
98～99	宮崎 茂和	松本 昇	D.1470 デンマーク コペンハーゲン	田中 文夫	石原 みさ子、林家 祐子、松井 直子、田中 康秀、越智 基嗣
99～00	大日方 弘明	八木 春樹	D.7350 アメリカ ペンシルバニア	松本 昇	磯野 真知子、鶴飼 知子、桐山 佳久、久内 敏克
00～01	山崎 時雄	佐野 貞夫	D.1390 フィンランド	佐野 貞夫	村角 智恵、三好 弘美恵、桜井 正寛、西村 徹
01～02	西村 二郎	佐野 貞夫	D.6910 アメリカ ジョージア	正村 嘉規	品川 勉、今西 正樹、大山 由城、栃山 和誉
02～03	岡村 吾郎	木村 憲一	D.6080 アメリカ ミズーリ	八木 春樹	杉本 直人、高楠 直樹、藤原 恵子
03～04	福井 正典	木村 憲一	D.9680 オーストラリア シドニー	坂本 克也	柳沢 豊、井上 寛泰、穉方 攝子、小畑 真由美
05～06	大久保 昇	荒木 一寿	D.1850 ドイツ プレーメン	田中 文夫	賀川 タ子、津田 浩伸、東川 景子、森井 裕

協同プロジェクト最高賞

本賞の内容

本賞は、他団体と協同で実施した活動において見事な成果を上げたロータリー・クラブを称え、表彰するものです。

受賞の資格基準

ロータリー以外の他団体と協同で実施されたプロジェクトでなければなりません。ロータリー・クラブ同士のみで行われたプロジェクトは資格の対象から外されます。ただし、ロータリー・クラブが主催するプロジェクトで、ロータリー以外の他団体の協力を得た場合は資格の対象となります。

プロジェクトは3月15日までの12カ月間に実施されたものでなければなりません。

推薦書式は、3月15日までに地区ガバナーへ提出しなければなりません。

推薦書式は、4月15日までにRI世界本部に必着しなければなりません。

ロータリアンの積極的な参加を要したプロジェクトが優先されます。

記入漏れのある書式は、資格の対象から外されます。

推奨されている推薦手続

本賞への応募の審査を行う地区選考委員会を、8月1日までに、地区ガバナーが設置します。地区ガバナーは、この委員会の職権上の委員となります。

ガバナーは月信とウェブサイトの本賞および賞の資格基準について告示します。

申請手続き

1) 推薦書式の全ページに記入する。

2) 以下を含むプロジェクトの詳細を添付する。

ロータリー・クラブと他団体(他のロータリー・クラブは含まない)の間の主な草の根レベルの活動を説明したプロジェクトの概要および目標

プロジェクトに貢献したすべての団体が掲げている目標

プロジェクトのために必要とされた(あるいは拠出された)資金

ロータリー財団から受領したすべての補助金

協同活動によって得られた好ましい結果

写真、ビデオ、CD、パワーポイント・プレゼンテーション、報告書、新聞記事の切り抜き、ニュースレターに掲載されたもの、その他推薦の理由をさらに裏づけるものと思われるもの

3) 国際ロータリーに申請書類を送付する(住所は書式の後部を参照のこと)。

追加情報

委員会は、1地区につき5件までの推薦を選ぶことができます。地区ガバナーは、各推薦書式に承認の署名をする必要があります。

5月15日までに、受賞クラブの地区ガバナーに表彰状が送られる予定です。5月15日より前の表彰状送付のご要望は受け付けません。

ご質問がある場合は、「Best Cooperative Projects Award」と件名に書いて、Eメール(ers@rotary.org)でお問い合わせください。

* 各書式は、RI日本事務局のホームページよりダウンロードできます。

「四大奉仕部門功労者賞」

本賞の目的

ロータリー運動の力は世界中でクラブ会員が実施する奉仕活動にあることに照らし、本賞の目的は、各ロータリー・クラブが奉仕の四大部門において顕著な業績を挙げたクラブ会員を表彰することにあります。よって、この会長賞はクラブ内で顕著な功労のあった個々のロータリアンを表彰し、ロータリーの奉仕活動における個々のクラブ会員の積極的な関与に重点を置くロータリーの方針を強化することにあります。

選考手続

受賞候補者の選考方法は各クラブ会長が決めます。クラブ会長は、特別選考委員会を任命して推薦させることもでき、また、クラブの理事会にその選考を委託することもできます。推薦書式にはクラブ会長が署名してRI宛に提出し、その写しを地区ガバナーへ送付します。

受賞資格条件

受賞候補者は、常に、奉仕の全四大部門(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕)における奉仕活動に参加してロータリーの綱領の推進に範を示す者でなければならない。

本賞は、1人の会員に対し、一度限り贈られるものとする。

受賞候補者は、瑕疵なきクラブの正会員でなければならない。

推薦される資格のないロータリアン

現クラブ会長には、推薦される資格がない

現任、次期、および直前地区ガバナーには、推薦される資格がない

現任、次期、およびバストRI理事には、推薦される資格がない

各ロータリー年度につき、1クラブより1名のみ、受賞候補者を推薦できる。

表彰状は、クラブ会長宛に送付されます。この推薦書式の審査には、4週間ほどかかることがありますのでご了承下さい。

RI世界本部では、ロータリー年度を通じて、この推薦書式を受け付けています。

第5組IM開催報告

第5組IM実行委員長 中村 利章 (大野RC)

去る10月21日(土)大野市 多田記念大野有終会館に於いて、第5組IMを開催させていただきました。『ロータリーを考える』～ロータリーの魅力と絆～のテーマを掲げ、

平井義久ガバナーの開会点鐘.....ゼネラルリーダーには、神谷保男バスターガバナー

パネルディスカッション.....パネリストには、増田善宏 元ガバナー補佐(福井RC) 石川満夫ガバナー補佐(武生RC) 松原六郎ガバナー補佐(福井フェニックスRC) 刀根荘兵衛 次年度ガバナー補佐(敦賀RC)

そして県内ロータリアン100名が加わっての“100名に問う”ボタンアンケートにより、充分とロータリーを考えました。

基調講演には、RI第2680地区 田中 毅バスターガバナー(尼崎西RC)の「ロータリーの絆」～なぜロータリーに入ったのか～パワーポイントにてお示し頂き、ロータリーの真髄を語って頂きました。

第5組ロータリアンには、ITを駆使したIMに新しい時代を感じて頂けたと存じます。

特に本年度は、平井義久ガバナーの「地域に根ざしたRYLA」をIMと共にIMのホストの地に於て.....との方針.....奥越前大野の古刹曹洞第二道場 宝慶寺にて、一泊二日の研修が行われました。又、私共大野クラブとの姉妹締結クラブ 台湾国 大溪扶輪社12名の社友が訪れて頂き、異なったロータリー文化も見受けました。又、県下会長会議は基より、県下ロータリー情報委員長連絡会議と盛り沢山のロータリーの日でございました。.....懇親会も和やか.....「奉仕の理想」の研鑽と会員相互の親睦 十分に満たされた一日であったと確信致しております。つつがなく、お役目を果たさせて頂きました事、第5組ロータリアンに心より感謝申し上げます。

私共の、このIMの成功を次年度ホストクラブ 三国ロータリークラブ様にバトンタッチさせて頂きます。有難うございました。



第2組 IM開催報告

クラブ幹事 坪倉 国男(峰山RC)

峰山RCホスト第2組のIMを、山田バスターガバナー（GR）ご指導のもと、去る11月4日（土）府丹後文化会館で開催しました。

大会テーマ「市民の皆様との絆を大切にしよう」。このテーマどおり、堀場バスターガバナーに「元気だそう！京丹後」と銘打って、IMの記念講演をお願いしました。一般公開で、市民の皆さんと共に講演を聞き、素晴らしいヒントをいただき、共にふるさと振興を実施しようと、大勢の市民の頭脳に、刺激を与えていただきました。まさに「ベンチャー魂が活力の源泉！」と言う、堀場バスターガバナーの、“改革・粉砕”魂が京丹後市民に伝わりました。

本会議「ロータリアン100人に聞きました」は、ボタンアンケートマシンを使用して、ロータリアンの意識調査をしました。各クラブから選抜されたロータリアン100人が、山田ゼネラルリーダーの、ロータリーの活動に対する12の質問に、ボタンで即答し、その結果に対し、山田ゼネラルリーダーと、会場内のロータリアンが意見交換し、広く知識を身につける、素晴らしいIMでした。

そして、ご来賓を始め、出席して頂きましたバスターガバナー、地区委員、組外のロータリアンの皆様、心よりお礼申し上げます。有難うございました。



嵯峨小倉山特別保存地域における竹林整備事業
第1回竹林清掃整備 及び 第2回竹穂垣補修

クラブ広報委員長 伊藤 哲雄 (京都洛西RC)

主催 京都洛西ロータリークラブ 社会奉仕プロジェクト委員会
後援 京都洛西ローターアクトクラブ うたのおやじの会 (ご協力) 嵯峨嵐山地域住民有志
日時 2006年9月10日 (日) 及び10月7日 (土)
場所 嵯峨小倉山竹林 大河内山荘周辺
活動 市民の憩いの場であり、京都を代表する風景のひとつである竹林を守ることで、自然の営みの循環を守り水資源を保全するという奉仕活動に、私ども京都洛西ロータリークラブは2回にわたって取り組みました。

第1回目の9月10日 (日) はまず、竹林の清掃整備活動です。竹林の密生した竹を間伐し枝を落とすことで竹林の日当たりと風通しが良くなり、同時に枯れ枝と捨てられたごみ等を取り除くことで竹林の土壌を改善することができます。このことは地表に降り地下水となる水質を浄化し、私たちを取り巻く水資源を保全することにつながります。水資源の保全はロータリーの国際的な奉仕運動の主要なテーマの一つでもあります。

第2回目10月7日 (土) は竹穂垣の補修作業を行いました。沿道に続く竹穂垣は竹林の景物として欠かせないものですが、竹穂は数年で朽ちてしまいます。この竹林一帯の歴史的景観を守るために垣根に新しい竹穂を挿す活動をいたしました。2回の活動に亘って、洛西ロータリークラブメンバーとクラブが提唱する京都洛西ローターアクトクラブのメンバーに加えて、地元宇多野小学校を核とする「うたのおやじの会」の皆さん、地元嵯峨の住民有志の皆さんにもご協力いただいて、地域一丸となって奉仕活動に励みました。

両日も雨模様のお天気にもかかわらず、場所柄、行きかう大勢の観光客の注目を集め、市民ボランティアによって嵯峨嵐山の景観が守られていることをアピールすることができました。なおこの模様はみやびじょんの取材を受け、京都新聞には10月13日の朝刊に報道されました。また、みやびじょんの取材ビデオは、11月21日放送のNHK京都局のニュース番組「京いちにち」で紹介されました。



「私たちの町 ピカピカ作戦」京都西ロータリークラブ

クラブ広報副委員長 藤木 俊夫 (京都西RC)

昨年度、奉仕基金委員会の事業として、西院交差点の植え込み (3カ所) 天神川四条交差点の植え込み (1カ所) に町の美化活動の啓蒙を目的に立て看板を4基設置し、あわせて周辺のゴミ拾いを続けております。

本年度も継続事業として10月28日 (土) にクラブ会員と提唱ローターアクトクラブの京都外大ローターアクトクラブ、そして京都西ローターアクトクラブのメンバーが集まり午前10時から2時間、2班に分かれて清掃奉仕活動を行いました。

奉仕基金委員長の藤野会員も80歳を超える高齢ながら、ゴミ袋を片手に先頭に立ち活動をされていました。

特に、交差点周辺でのタバコの吸い殻が多く、また立て看板を設置しているにもかかわらず植え込みにゴミを捨てる人が多いのが残念です。

今後もゴミを拾う姿を見ていただく事で、少しでもポイ捨てをされる人が減る事を願い活動を続けて行きたいと思っております。



親子eco eco講座「ひみつ道具～ふろしき大事典」 クラブ環境保全委員長 下村 真一（福知山RC）

主催 福知山ロータリークラブ 福知山ローターアクトクラブ
（担当：社会奉仕・環境保全委員会、新世代委員会、ローターアクト委員会）

日時 10月29日(日) 午後

場所 福知山市 丹波生活衣館

参加者 地元小学生とその保護者 17組 36名

新世代の子ども達に、楽しみながら環境問題意識を身につけてもらおうと、ふろしきの使い方を体験する親子講座を開催しました。

これまでより当クラブでは、地元の小学生を対象に、福知山の自然観察や由良川の環境・歴史の学習、工作を通じた資源の有効活用などの体験型講座を開催して参りましたが、今回はお母さん方にも一緒に体験して頂く内容としました。

京都を中心に全国的ネットワークを持つ「ふろしき研究会」の森田代表、綾部の桜井会員をお招きし、「包んで結んで 地球とかよよし」をテーマに、ふろしきの色々な便利な使い方・結び方を、親子でワイワイと楽しく教えて頂きました。90分間の長い時間

も飽きることなく、不思議なふろしきマジックに子ども達は興味津々で、出来た作品を身につけてみんなに披露するポーズもなかなか様になっていました。

難しい話は抜きにして、なにげない日常生活の中で資源の無駄遣いをなくして行ける「エコライフ」の実践は、窮屈で強制感を持つ「儉約」とは無縁の、持続的な環境保護を実現し得るものだと考えます。そしてまた、日本に昔からあるものを上手に今にとり入れることは、文化の継承という点でも大事なことでないでしょうか。

「ふろしき」から来るイメージは何か古臭い、というのがありますが、その意匠は多種多様で洋服にも良く合うデザインのものも沢山出てきています。今回参加の皆さんには、ふろしき研究会の方にチョイスして頂いた美しく可愛いデザインの小ふろしきを記念にプレゼントしました。

早速覚えた「ふろしき帽子」や「ウエストポーチ」を、翌朝の登校時に持っていくお子さんもいらしたようで、「オシャレでカワイイふろしき」は、子ども達に浸透したようです。



友好訪問 夜間例会の様子がラジオから！ クラブ広報委員長 田附 剛士（京都洛北RC）

友好クラブの金沢北ロータリークラブ（石川県）と海外友好クラブのフィレンツェ東ロータリークラブ（イタリア）が、10月19日（木）に当クラブを友好訪問されることになり、例会を会員夫人もまじえて18時よりの夜間例会に変更し、開催しました。今年度会長テーマである“和気藹々”を実感するような楽しい例会でした。

クラブ広報委員会としては、一般の方が持っている固いイメージの「ロータリークラブ」ではなく、「ロータリークラブ」は楽しく和気藹々とした雰囲気も持っており、海外や他府県のクラブとも交流があることを知っていただくため、FM局の京都三条ラジオカフェ（79.7MHz）より取材に来ていただき、30分の番組を製作し放送しました。オンエアは、11月2日（木）の昼（再放送11月3日昼）に行われました。また、より多くの方に聞いてい

ただくため、ラジオカフェのインターネット放送でも3ヶ月間聞くことができるようにいたしました。

番組の内容は、山田栄一会長のロータリークラブの紹介や金沢北ロータリークラブ会長のお話、イタリア語通訳を介してではありませんが、フィレンツェ東ロータリークラブのコメント、会員の短いけれど楽しいコメントが、ロータリーソング等を挟んで流れました。

放送された番組は、CDにして両友好クラブに送り、友好活動の一助にもなりました。

新聞のような大きな広報媒体ではありませんが、その分、取材依頼はじめ番組へのクラブ側の意見も入れてもらいやすく有意義な広報活動ができたのではないかと考えております。



ソルトレイクシティー国際大会 第2650地区親睦夕食会へのお誘い

RI国際大会推進委員長 山本 和秀 (京都山城RC)

2007年6月17日(日)～20日(水)にソルトレイクシティー第98回RI国際大会が開催されます。開会式に先立ち6月16日(土)に第2回目の「第2650地区親睦夕食会」を別紙要領で開催いたします。

この夕食会はソルトレイクシティー国際大会にご参加いただいた地区会員様とご家族が親睦を深めると同時に、ガバナー平井義久様の1年間のご指導に感謝し、また新たに7月からガバナーにご就任されるガバナーエレクト橋本長平様の新しい船出をお祝いすることを目的として行います。

このような趣旨の催し物を当委員会が主催することは、はなはだ僭越では御座いますが、RI国際大会推進の一環としての企画でありますので当委員会が担当させていただくことになりました。なにとぞご理解を賜りますようお願いいたします。

是非ともロータリアンのご家族、ご友人もお誘い合わせの上、皆様のご出席を願っております。

お申し込みはクラブ単位で別紙「第2650地区親睦夕食会申込書」(11月11日(土)国際大会説明会にて配布済み)にご記入の上FAXで、且つ、申込金の送金をそれぞれ下記までお願いいたします。

「第2650地区親睦夕食会申込書」と入金が日本通運(株)で確認できました時点でお申し込み完了とさせていただきます。

【第2650地区親睦夕食会 申し込み・振込先】

申し込み送信先：FAX 075-213-2533

申込金振込先：三井住友銀行近畿第一支店

普通口座 NO.5717018

口座名：日本通運(株)旅行口

*申し込みは、準備の都合上2007年3月30日(金)必着でお願いします。

ご不明な点につきましては地区RI国際大会推進委員会、日本通運(株)京都旅行支店までお問い合わせください。

・地区RI国際大会推進委員会

山本和秀(京都山城RC)、大町佐千美(宇治鳳凰RC)

・日本通運(株)京都旅行支店

担当者氏名：河本雄治 植野憲司

電話番号：075-213-5510

ガバナー主催会員増強セミナー

「ロータリーにふさわしい品格のある人を」「1クラブ1人増」を確信

会員増強副委員長 高橋 裕夫 (京都RC)

平井義久第2650地区ガバナーが主催する「地区会員増強セミナー」が10月15日、京都市下京区のキャンパスプラザ京都で開かれ、平井ガバナー、森定秀夫地区会員増強委員長、岩本金悟地区拡大委員長はじめ、各ロータリークラブの会長、会員増強委員長(代理を含む)ら約200人が出席しました。

この日は、RI第2630地区パストガバナーでRI会員組織第3ゾーン・コーディネーターの服部芳樹氏に基調講演を依頼。服部氏は「増強の4方向」として 1、元ロータリアン(退会者)への対応 2、新会員を地域社会に 3、会員の強化 組織と運営の規範を学ぶ 4、ロータリー家族--を示され、「増強の唯一の方法はクラブの魅力を高めることで、その出発点は会員の質的向上にある」と語られました。ついで、平井ガバナーが基調方針として「どことも入会を希望する人で行列のできるよう

なクラブになってほしいが、だれでもというわけではなく、ロータリーにふさわしい品格のある人でなければならない」「会員は企業で、業界で、地域で、そしてロータリークラブで立派な人でなければならない」と述べられました。

このあと、服部氏、平井ガバナー、森定委員長、岩本委員長の4人をパネラーにパネルディスカッションに移り、まずRI会長が示している「1クラブ1人増」について取り上げられたが、服部氏の「現在までに達成しているところは？」の質問にほとんどのクラブが挙手し、平井ガバナーも「十分やっていただけると確信する」と応じました。さらに「会員は質か量か」「女性会員」の問題についても意見が出され、クラブ側からは「休会制度の実現」「一業種多会員」「純増の期限」などについての提案もありました。

「青少年と絆」

ロータリー情報委員 宮本 國男 (大野RC)

最近少年問題は、警察をはじめとする関係機関、団体だけが取り組めばよいというものではなく、社会全体が自らの問題として真剣に考え、これからの子供たちが社会の荒波に自らの力で生き抜いていく資質や能力を育てていくためには学校教育はもちろんの事、家庭や特に地域社会での絆があれば豊かな生活体験が出来ると思います。

身近なところで、朝の集団登校の子供達の様子を見ていますと、上級生から下級生まで行儀良く並んで登校する姿は、実に微笑ましいものです。しかし、ある方にお聞きしましたところ、毎朝その人数に少しずつ違いがあるそうです。親が朝寝坊で集団登校に後れた子を甘やかし、車で学校まで送ってしまうせいではないかとの話でした。確かに遅れた分を車で取り戻すのは簡単かも知れませんが、でもここで、何か大切なものをみすみす落としているのではないのでしょうか。集団登校の中でのルールや友達づくり、あるいは待っていてくれた友達への思いやりなど一口で言い表せませんが、せつかく子供達が一つひとつ経験していかなければならないことを、親が摘み取ってしまっているように思えてならないのです。親は子に楽をさせることを子に対する愛情だと勘違いしているのではないのでしょうか。そして、その積み重ねが、思い通りにならないと、ことがあるとすぐキレる最近の子供達を生み出している結果ではないかと思えてなりません。

戦後60年、私たちはかつてない豊かさと引き替えに多くの大切な物を失ったようです。それは、自由と民主主義、生活と教育水準の向上、均一化社会、長寿社会等を得た反面、相手を

思いやる心、譲り合いや感謝の心、命を大切にすることが失われ、社会や他人に対する無関心、世代間の断絶核家庭と孤立化が現れてきたのです。環境面でも技術革新と引き替えに都会では自然や鎮守の森、小川や沼を失ってしまった。非行少年の面でも問題児の背後には問題のある親がいるのです。これは、私たち大人の有様が子供に反映しているのであり、学校で「修身」という時間があり、通常の勉強よりさらに重要なものとして、基本的モラル、道徳を学びました。又、地域においても家庭はもとより近所の人々との交流の中で道徳などを自然に身につけたものです。しかし、今はこうして学校の授業もなく、地域社会との交わりも希薄なのです。それでは、今の子供達にはどのように接し、何をすべきなのでしょう。

私が提案したいことは、まず、地域全体で絆を大切に、青少年を育てるという意識づくりが重要です。保護者はもとより住民の意識啓発が必要だと思います。又、家庭では子供と真剣に話し合える環境すなわち話のキャッチボールを行う時間を作り、子供の話に耳を傾けることです。

親と子供との絆をもって話をじっくり聞けば必ず子供の心は安定し、悩みがあっても一人で悩み込んだりせず、心のゆとりができるものです。心の安定から語り合える友達も増え、友を踏み台にするような荒んだ競争はなくなるはずです。

家庭・学校・地域との絆をもって、「心の教育」を地域のみならず考え、他人の子供でも自分の子供と同様、悪いことをすれば叱る、基本的モラルを教えるということを実践して見よう。



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

福井県（19クラブ）

クラブ名	9.30 会員数	入会	退会	10月 会員数	期 会員数	首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
福井	121	1	1	121	119	7	5	4	82.44%	2	
福井あじさい	51	1	0	52	49	3	0	3	69.00%	3	
福井東	41	0	1	40	41	0	1	3	87.67%	3	
福井北	115	2	0	117	107	11	1	4	87.98%	5	
福井南	71	1	0	72	71	1	0	5	80.00%	0	
福井フェニックス	47	0	0	47	46	1	0	4	75.54%	0	
福井水山	33	0	0	33	34	1	2	4	70.00%	3	
勝山	28	0	0	28	28	0	0	5	87.85%	3	
丸岡	38	0	1	37	36	2	1	3	85.71%	0	
三国	44	0	0	44	44	1	1	4	83.96%	2	
大野	39	0	0	39	37	2	0	4	73.33%	4	
鯖江	53	0	0	53	52	1	0	4	96.23%	0	
鯖江北	35	0	0	35	35	0	0	4	92.65%	0	
武生	66	0	0	66	67	1	2	5	79.35%	2	
武生府中	47	0	2	45	47	0	2	4	93.89%	0	
敦賀	55	0	1	54	54	1	1	4	88.89%	0	
敦賀西	29	0	0	29	29	0	0	4	78.45%	3	
若狭	40	0	0	40	37	3	0	3	100.00%	0	
小計	1,006	5	6	1,005	986	35	16	平均 4.0	平均 83.38%	42	

滋賀県（22クラブ）

クラブ名	9.30 会員数	入会	退会	10月 会員数	期 会員数	首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	51	0	0	51	48	4	1	4	85.33%	1	
五箇荘能登川	18	0	0	18	17	1	0	4	88.80%	0	
彦根	78	0	0	78	77	2	1	4	97.49%	2	
彦根南	65	0	0	65	65	0	0	4	93.33%	0	
湖南	39	0	0	39	39	0	0	4	94.14%	1	
草津	41	0	0	41	39	2	0	4	90.44%	0	
水口	50	0	0	50	49	1	0	5	94.76%	0	
守山	50	0	0	50	50	0	0	4	92.02%	0	
長浜	61	0	0	61	62	1	2	4	92.11%	0	
長浜東	68	0	0	68	68	1	1	4	100.00%	0	
大津	121	0	0	121	114	7	0	5	100.00%	0	
大津中央	37	0	0	37	35	2	0	4	87.16%	2	
大津東	25	0	0	25	24	1	0	3	78.25%	1	
大津唐橋	28	0	0	28	26	2	0	4	90.74%	1	
大津西	30	0	0	30	30	0	0	4	100.00%	0	
近江八幡	65	0	0	65	64	1	0	4	96.00%	1	
栗東	39	0	0	39	39	0	0	4	85.00%	2	
滋賀湖北	25	0	0	25	23	2	0	4	93.00%	0	
高島	39	1	0	40	39	1	0	4	97.65%	1	
野洲	43	0	5	38	42	1	5	4	86.45%	1	
東近江	54	0	0	54	52	4	2	4	74.38%	0	
八日市南	57	0	0	57	57	1	1	4	92.02%	2	
小計	1,084	1	5	1,080	1,059	34	13	平均 4.0	平均 91.32%	15	

奈良県（13クラブ）

クラブ名	9.30 会員数	入会	退会	10月 会員数	期 会員数	首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
五條	44	1	1	44	43	2	1	4	93.07%	0	
平城京	37	0	0	37	37	0	0	4	98.39%	0	
生駒	37	0	0	37	37	0	0	4	85.00%	0	
橿原	89	0	0	89	85	5	1	4	69.39%	3	
あすか	54	0	0	54	54	0	0	4	95.31%	0	
奈良	145	0	1	144	142	3	1	4	97.08%	3	
奈良東	45	0	0	45	44	1	0	4	100.00%	0	
奈良西	39	1	0	40	38	2	0	4	83.00%	0	
奈良大宮	70	2	0	72	65	7	0	4	95.06%	0	
王寺	31	0	0	31	30	1	0	4	93.72%	2	
桜井	51	0	0	51	50	1	0	4	97.06%	0	
大和郡山	51	0	0	51	50	1	0	4	98.61%	0	
大和高田	98	0	0	98	96	2	0	4	94.84%	2	
小計	791	4	2	793	771	25	3	平均 4.0	平均 92.35%	10	

京都府（42クラブ）

クラブ名	9.30 会員数	入会	退会	10月 会員数	期 会員数	首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
綾部	49	0	0	49	50	0	1	4	93.62%	0	
福知山	64	0	0	64	63	2	1	4	93.52%	0	
福知山西南	54	0	0	54	54	1	1	5	97.37%	1	
亀岡	42	0	0	42	42	1	1	5	100.00%	0	
亀岡中央	21	0	1	20	21	0	1	4	93.42%	1	
京都	199	3	1	201	198	7	4	4	98.09%	0	
京都伏見	95	0	0	95	92	3	0	4	83.64%	3	
京都平安	37	1	0	38	37	1	0	4	71.35%	3	
京都東	104	1	0	105	104	3	2	4	97.73%	0	
京都北東	34	0	0	34	32	3	1	4	89.17%	0	
京都市陽	34	0	0	34	34	0	0	4	95.10%	0	
京都桂川	32	0	0	32	32	0	0	4	83.33%	0	
京都北	65	0	0	65	65	0	0	4	98.24%	0	
京都南	219	0	0	219	214	8	3	4	95.38%	0	
京都モーニング	51	0	0	51	50	1	0	4	88.78%	1	
京都紫野	68	0	0	68	69	1	2	4	100.00%	0	
京都市中	42	0	0	42	40	2	0	3	100.00%	0	
京都西	103	0	0	103	101	2	0	4	99.66%	0	
京都西山	25	0	0	25	25	0	0	4	80.13%	0	
京都乙訓	41	0	0	41	41	0	0	4	81.45%	0	
京都洛中	90	1	1	90	89	2	0	4	100.00%	0	
京都洛北	68	0	0	68	68	0	0	4	100.00%	0	
京都洛南	39	1	0	40	39	1	0	5	87.32%	1	
京都洛西	51	0	1	50	49	2	1	5	87.32%	3	
京都洛東	39	0	0	39	39	0	0	4	91.67%	0	
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	4	84.00%	0	
京都さくら	29	0	0	29	29	1	1	4	87.50%	3	
京都西北	47	0	0	47	46	2	1	4	93.55%	0	
京都西南	60	0	1	59	58	2	1	4	90.00%	6	
京都紫竹	51	0	0	51	52	1	2	4	75.00%	2	
京都朱雀	42	0	0	42	42	0	0	4	97.06%	0	
京都田辺	25	0	0	25	25	0	0	4	95.65%	2	
京都山科	82	2	0	84	81	4	1	4	98.91%	0	
京都山城	43	0	0	43	43	1	1	4	99.31%	0	
京都八幡	35	0	0	35	36	0	1	4	93.55%	0	
舞鶴	34	0	0	34	31	4	1	5	97.39%	0	
舞鶴東	55	0	0	55	53	2	0	4	83.09%	0	
峰山	40	0	0	40	40	1	1	4	95.59%	2	
宮津	54	0	0	54	54	0	0	5	93.41%	0	
園部	33	0	0	33	33	0	0	4	98.28%	0	
宇治	45	0	0	45	45	0	0	5	98.57%	0	
宇治鳳凰	45	0	0	45	45	1	1	4	95.24%	5	
小計	2,413	9	5	2,417	2,388	59	29	平均 4.1	平均 92.44%	33	

合計（96クラブ）

	9.30 会員数	入会	退会	10月 会員数	期 会員数	首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
合計	5,294	19	18	5,295	5,204	153	61	平均 4.1	平均 90.38%	100	

表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、10月会員数および入退会者累計数は、10月末日現在です。

逝去会員 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



東久福氏
(五條RC)
平成18年10月11日
享年86歳



堀川佳亜氏
(奈良RC)
平成18年10月23日
享年59歳



岡本政和氏
(京都西南RC)
平成18年10月24日
享年75歳



北村亨氏
(京都洛西RC)
平成18年10月30日
享年85歳



角田潤治氏
(京都RC)
平成18年10月30日
享年75歳



相馬秀臣氏
(京都北RC)
平成18年10月31日
享年78歳

ホームページで「絆」を深めよう

地区ホームページをご覧になっていますか？

ホームページを開くと、ガバナー事務所便り、クラブ便り、委員会便りのコーナー、が目に飛び込んできます。ここでは地区で行われている活動を、ロータリアンの皆様に迅速にお届けするよう、随時更新できる体制をとっております。また、記事についてのご意見やご感想をすぐに反映できるブログ形式となっていますので、情報を得ながら交流することも可能です。ガバナーの公式訪問をはじめ各クラブの奉仕活動も、どんどん掲載しています。「委員会でごんごんことが決まった！」「うちはこんな活動をした！」「こんなエピソードがあった！」などありましたら、是非ロータリアンの皆様に広く伝えてください。ガバナー事務所まで原稿と写真をお寄せいただきましたら、すぐに掲載いたします。ホームページを通じて、さらなる「絆」を深めませんか。

原稿・写真は、ガバナー事務所

gov06-07@rid2650.gr.jp までお送りください。

お問い合わせは、地区副幹事長 砂山(ガバナー事務所 大西まで)



<http://www.rid2650.gr.jp/>

文庫通信
230号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介をいたします。

クラブ活動の資料として(1)

- 「DLPとCLPの重要性について」 南園義一 防府RC 2006 8p
 - 「ロータリー第二世紀への船出 充実したクラブ奉仕活動が基本」 板橋敏雄 2005 12p (D.2610 地区大会)
 - 「ロータリーは率先する人の集まりです」 渡辺好政 2006 1p (D.2690 月信)
 - 「ロータリー第2世紀を迎えて」 田中作次 2006 3p (第34回ロータリーゾーン研究会報告書)
 - 「職業奉仕の核にあるもの」 深川純一 2006 17p (八戸RC 週報)
 - 「魅力あるロータリークラブとなるために」 西村栄時 2006 4p (D.2710月信)
- 【上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)】

必読の書(復刻版)増刷出来る 領価 1500円(送料別)
『ロータリー・モザイク』
ハロルド・T・トーマス著 ; 松本兼二郎訳
本書は、1905~1970年代までのロータリーの思想の移り変わりを解説している。ロータリーの生い立ちと進歩発展の歴史を元RI会長が綴ったロータリアンの質的成長の記録でもある。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=10:00~17:00 休館=土・日・祝祭日